

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成25年1月11日

【四半期会計期間】 第47期第3四半期(自平成24年9月1日至平成24年11月30日)

【会社名】 エスフーズ株式会社

【英訳名】 S Foods Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 村上真之助

【本店の所在の場所】 兵庫県西宮市鳴尾浜1丁目22番13

【電話番号】 (0798)43局1065番

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理本部長  
安岡信幸

【最寄りの連絡場所】 兵庫県西宮市鳴尾浜1丁目22番13

【電話番号】 (0798)43局1065番

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理本部長  
安岡信幸

【縦覧に供する場所】 エスフーズ株式会社東京支店  
(千葉県船橋市浜町3丁目2番3)

株式会社大阪証券取引所  
(大阪市中央区北浜1丁目8番16号)

株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第46期 第3四半期 連結累計期間	第47期 第3四半期 連結累計期間	第46期
会計期間	自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日	自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日	自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日
売上高 (百万円)	99,095	108,751	134,236
経常利益 (百万円)	3,212	3,883	5,174
四半期(当期)純利益 (百万円)	101	1,765	1,428
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	1,009	2,217	2,687
純資産額 (百万円)	35,114	38,703	37,223
総資産額 (百万円)	63,202	72,325	65,222
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	3.62	63.04	50.99
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	50.1	47.9	51.0

回次	第46期 第3四半期 連結会計期間	第47期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成23年9月1日 至 平成23年11月30日	自 平成24年9月1日 至 平成24年11月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	29.63	17.17

- (注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 2 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 3 従来、千円単位(単位未満切捨て)で記載しておりましたが、第47期第1四半期連結累計期間より百万円単位(単位未満切捨て)に変更しております。
- 4 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 5 第46期第3四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

## 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

なお、主要な関係会社の異動は、以下のとおりであります。

### （食肉等の製造・卸売事業）

第1四半期連結会計期間において、連結子会社エスファーム遠野株式会社が株式会社遠野牧場を、連結子会社エスファーム株式会社がマスターファーム株式会社をそれぞれ新規設立したことにより、連結の範囲に含めております。

第1四半期連結会計期間において、グループ経営の効率化を図るため、株式会社味兆が株式会社ケンシヨクを吸収合併しております。

第2四半期連結会計期間において、連結子会社株式会社ヒョウチクがMHK USA LTD.の全株式を取得したことに伴い、連結の範囲に含めております。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等は行われていません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、長引く景気の低迷と円高傾向に加え、政治の混乱が続く、険しい状況にありました。

当食肉業界におきましても、消費者の低価格ニーズに応じるために企業努力と競争力強化がより求められています。

このような経営環境の下、当社グループは、低成長の経済状況に対応した営業体制と食肉の生産から小売・外食事業までの一貫経営を推進して、経営体質の強化と安定的な成長を目指しました。

食肉等の製造・卸売事業においては、牛・豚の生産事業の拡充を目指した事業開発を推進中であり、また、鍋物シーズンを迎え、定番の「こてっちゃん牛もつ鍋」シリーズに加え、「レトルトアルミ鍋」シリーズや「おうちバル」シリーズを発売し、肉食需要の高まりに応えました。さらに、生食用牛肉の加工・調理基準改訂に対応した昨年6月の個食用の「タタキ」の発売に続き、同年9月には個食用の「ユッケ」を開発し、業界でも大きな話題となりました。食肉等の小売及び外食事業においては、小売部門では新規デベロッパーとの取り組みによる新規出店や既存店活性化の継続、外食部門ではグループ経営強化として、一昨年12月にグループ化したステーキレストランチェーンの確実な業務移管と競争力向上のための施策が功を奏しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,087億5千1百万円（前年同四半期比9.7%増）、営業利益36億4千4百万円（前年同四半期比23.9%増）、経常利益38億8千3百万円（前年同四半期比20.9%増）、四半期純利益17億6千5百万円（前年同四半期は、投資有価証券の評価損計上等により1億1百万円）となりました。

なお、前年同期との比較において、特殊な要因として前年第3四半期連結累計期間には東日本大震災及び食中毒事件の発生、また株式市況の変動による保有有価証券の評価損（22億5千3百万円）の発生がありました。

続いて、セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載し、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

#### 食肉等の製造・卸売事業

売上高は870億3千5百万円（前年同四半期比8.7%増）、セグメント利益は34億6千7百万円（前年同四半期比5.2%増）となりました。

#### 食肉等の小売事業

売上高は151億5千6百万円（前年同四半期比1.0%増）、セグメント利益は6億9千9百万円（前年同四半期比4.2%増）となりました。

#### 食肉等の外食事業

売上高は54億3千6百万円（前年同四半期比64.3%増）、セグメント利益は2億3千6百万円（前年同四半期1億7千6百万円のセグメント損失）となりました。売上高及びセグメント利益の増加は、主に東日本エリアの既存店の業績回復並びに焼肉レストランの新店効果及び一昨年12月にグループ化したステーキレストランチェーン事業の連結取込によるものであります。

#### その他

売上高は11億2千3百万円（前年同四半期比49.3%増）、セグメント利益は8百万円（前年同四半期比71.5%減）となりました。売上高の増加は、主に昨年2月にグループ化した倉庫事業の連結取込によるもので、セグメント利益の減少は、主に東日本大震災直後にあった飲料水特需の消滅によるものであります。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて71億2百万円増加し、723億2千5百万円となりました。これは主に、売上高増加に伴う売上債権の増加及びたな卸資産の増加等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて56億2千2百万円増加し、336億2千2百万円となりました。これは主に、売上高増加に伴う仕入債務が増加したこと及び借入金が増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて14億7千9百万円増加し、387億3百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の当社グループが支出した研究開発費の総額は6千5百万円であります。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	120,000,000
計	120,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年11月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年1月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	32,267,721	32,267,721	東京証券取引所 (市場第一部) 大阪証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 500株
計	32,267,721	32,267,721	-	-

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成24年11月30日	-	32,267,721	-	4,298	-	11,881

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年8月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 4,260,500	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 27,844,500	55,689	-
単元未満株式	普通株式 162,721	-	-
発行済株式総数	32,267,721	-	-
総株主の議決権	-	55,689	-

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式220株が含まれております。

【自己株式等】

平成24年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
(自己保有株式) エスフーズ株式会社	兵庫県西宮市鳴尾浜 1丁目22番13	4,260,500	-	4,260,500	13.20
計		4,260,500	-	4,260,500	13.20

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

- (1) 当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。
- (2) 当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目、その他の事項の金額は、従来、千円単位（単位未満切捨て）で記載していましたが、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間より百万円単位（単位未満切捨て）で記載することに変更いたしました。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成24年9月1日から平成24年11月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年3月1日から平成24年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により四半期レビューを受けております。



1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	15,554	15,671
受取手形及び売掛金	12,104	15,149
商品及び製品	5,474	8,674
仕掛品	1,933	2,409
原材料及び貯蔵品	622	1,058
その他	2,235	1,576
貸倒引当金	132	130
流動資産合計	37,792	44,409
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	17,976	18,232
減価償却累計額	10,974	11,417
建物及び構築物（純額）	7,001	6,815
土地	9,056	9,072
その他	12,376	13,155
減価償却累計額	9,355	9,551
その他（純額）	3,021	3,603
減損損失累計額	575	515
有形固定資産合計	18,503	18,975
<b>無形固定資産</b>		
のれん	238	140
その他	247	226
無形固定資産合計	485	366
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	4,948	5,266
その他	3,622	3,541
貸倒引当金	130	234
投資その他の資産合計	8,440	8,573
<b>固定資産合計</b>	27,430	27,915
<b>資産合計</b>	65,222	72,325

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,729	11,319
短期借入金	4,261	4,258
未払法人税等	1,407	813
賞与引当金	597	940
その他	4,544	4,446
流動負債合計	18,541	21,778
固定負債		
社債	640	430
長期借入金	5,842	8,430
退職給付引当金	795	805
役員退職慰労引当金	144	161
その他	2,036	2,016
固定負債合計	9,458	11,843
負債合計	27,999	33,622
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,298	4,298
資本剰余金	11,952	11,952
利益剰余金	20,121	21,214
自己株式	2,985	2,987
株主資本合計	33,386	34,478
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	436	662
繰延ヘッジ損益	2	7
為替換算調整勘定	537	519
その他の包括利益累計額合計	97	150
少数株主持分	3,934	4,074
純資産合計	37,223	38,703
負債純資産合計	65,222	72,325

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
売上高	99,095	108,751
売上原価	82,879	90,242
売上総利益	16,216	18,509
販売費及び一般管理費	13,275	14,865
営業利益	2,940	3,644
営業外収益		
受取利息	19	17
受取家賃	65	96
受取配当金	53	53
負ののれん償却額	42	42
その他	224	244
営業外収益合計	405	454
営業外費用		
支払利息	71	104
持分法による投資損失	3	5
不動産賃貸原価	23	45
その他	36	59
営業外費用合計	134	214
経常利益	3,212	3,883
特別利益		
貸倒引当金戻入額	33	-
賞与引当金戻入額	19	-
受取補償金	-	49
その他	45	14
特別利益合計	98	63
特別損失		
固定資産処分損	9	46
減損損失	40	19
店舗閉鎖損失	35	18
投資有価証券売却損	111	-
投資有価証券評価損	2,253	-
ゴルフ会員権貸倒引当金繰入額	-	100
ゴルフ会員権評価損	-	10
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	118	-
その他	22	0
特別損失合計	2,589	194
税金等調整前四半期純利益	720	3,752
法人税等	581	1,788
少数株主損益調整前四半期純利益	139	1,963
少数株主利益	37	198
四半期純利益	101	1,765

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	139	1,963
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,069	226
繰延ヘッジ損益	4	4
為替換算調整勘定	203	21
持分法適用会社に対する持分相当額	-	1
その他の包括利益合計	870	253
四半期包括利益	1,009	2,217
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,050	2,013
少数株主に係る四半期包括利益	41	203

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)
(連結の範囲の重要な変更) 第1四半期連結会計期間において、連結子会社エスファーム遠野株式会社が株式会社遠野牧場を、連結子会社エスファーム株式会社がマスターファーム株式会社をそれぞれ新規設立したことにより、連結の範囲に含めております。 第1四半期連結会計期間において、グループ経営の効率化を図るため、株式会社味兆が株式会社ケンシヨクを吸収合併しております。 第2四半期連結会計期間において、連結子会社株式会社ヒョウチクがMHK USA LTD.の全株式を取得したことにより、連結の範囲に含めております。

【会計方針の変更等】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 なお、この変更による影響は軽微であります。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)
(税金費用の計算) 当社及び一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

連結会社以外の会社等の金融機関等からの借入に対して、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)		当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
株式会社カーサ	300百万円	株式会社カーサ	295百万円
有限会社すぎもとファーム	100百万円	有限会社すぎもとファーム	94百万円
		金丸 一男	120百万円
計	400百万円	計	509百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれんの償却額及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
減価償却費	1,011百万円	1,222百万円
のれん償却額	328百万円	110百万円
負ののれん償却額	42百万円	42百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成23年3月1日至平成23年11月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年5月24日 定時株主総会	普通株式	336	12	平成23年2月28日	平成23年5月25日	利益剰余金
平成23年10月11日 取締役会	普通株式	336	12	平成23年8月31日	平成23年11月1日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年11月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月22日 定時株主総会	普通株式	336	12	平成24年2月29日	平成24年5月23日	利益剰余金
平成24年10月11日 取締役会	普通株式	336	12	平成24年8月31日	平成24年10月31日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成23年3月1日至平成23年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)3
	食肉等の製造 ・卸売事業	食肉等の小 売事業	食肉等の外 食事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	80,034	14,999	3,308	98,343	752	99,095	-	99,095
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,453	396	101	4,951	3	4,955	4,955	-
計	84,488	15,396	3,410	103,294	756	104,051	4,955	99,095
セグメント利益 又は損失( )	3,297	670	176	3,791	30	3,822	881	2,940

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び不動産事業等  
 であります。  
 2. セグメント利益又は損失( )の調整額 881百万円には、セグメント間取引消去 140百万円、各報告セグメントに配  
 分していない全社費用 741百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び  
 一部子会社の間接部門の一般管理費であります。  
 3. セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)3
	食肉等の製造 ・卸売事業	食肉等の小 売事業	食肉等の外 食事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	87,035	15,156	5,436	107,628	1,123	108,751	-	108,751
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,599	14	86	4,700	48	4,749	4,749	-
計	91,634	15,171	5,523	112,329	1,172	113,501	4,749	108,751
セグメント利益	3,467	699	236	4,402	8	4,411	767	3,644

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び不動産事業等  
 であります。  
 2. セグメント利益の調整額 767百万円には、セグメント間取引消去 44百万円、各報告セグメントに配分していない全  
 社費用 722百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間  
 接部門の一般管理費であります。  
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
1株当たり四半期純利益金額	3.62円	63.04円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	101	1,765
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	101	1,765
普通株式の期中平均株式数(株)	28,008,515	28,007,108

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

第47期(平成24年3月1日から平成25年2月28日まで)中間配当については、平成24年10月11日開催の取締役会において、平成24年8月31日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	336百万円
1株当たりの金額	12円
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成24年10月31日



## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 1月10日

エスフーズ株式会社  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 松 井 隆 雄 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 小 林 礼 治 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているエスフーズ株式会社の平成24年3月1日から平成25年2月28日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成24年9月1日から平成24年11月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年3月1日から平成24年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、エスフーズ株式会社及び連結子会社の平成24年11月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。